

「情報格差解消」がいよいよ実現！ ～町内全域、全世帯に光ケーブルを整備～

情報化社会と言われて久しくなりますが、近年都市と農山村の情報格差はますます広がり、この格差を早急になくすことが重要な課題となっています。

智頭町では昨年「地域情報化基本構想」を取りまとめ、遅れている情報化を整備する方法や運営方法についての方針を定めました。

その内容は、整備対象を100%全世帯とするため「FTTH方式」という光ケーブルを各家庭まで張り巡らす方式を採用すること、町が情報基盤を整備し、民間電気通信事業者に設備を貸し、事業運営を任せる「公設民営」という運営方式とすることなどです。

国の補助事業に採択され、町負担大幅軽減

昨年度国の経済対策として、地域間の情報格差是正を図るため、地域情報通信基盤整備推進交付金（ICT交付金）に加え、地域活性化・公共投資臨時交付金、経済危機対策臨時交付金も補正予算で措置され、通常1/3の補助率のところ95%以上の補助率が見込めることとなりました。

また従前は、各家庭への光ファイバー引き込みまでが補助対象となっていたましたが、今回は全世帯に配備予定の告知端末まで補助対象として拡大されることとなりました。

これを受けて、初期投資について町の財政負担が大幅に軽減される見込みが立ったため、この制度を活用し智頭町でも総務省の交付決定があり次第、早急に事業に着手したいと考えております。



ケーブルひかり君

住民説明会

本事業の概要や智頭町が独自に展開するサービス、民間の通信事業者に展開していただくサービス、宅内の配線イメージ、サービスを利用するための月々の負担金などについて説明会を開催します。

各小学校区での説明と皆様の集落へ出向いての説明を予定しております。また日時等決まりましたら、世話人、防災無線等を通じてお知らせいたしますので、参加していただきますようお願いします。

サービス事業予定者

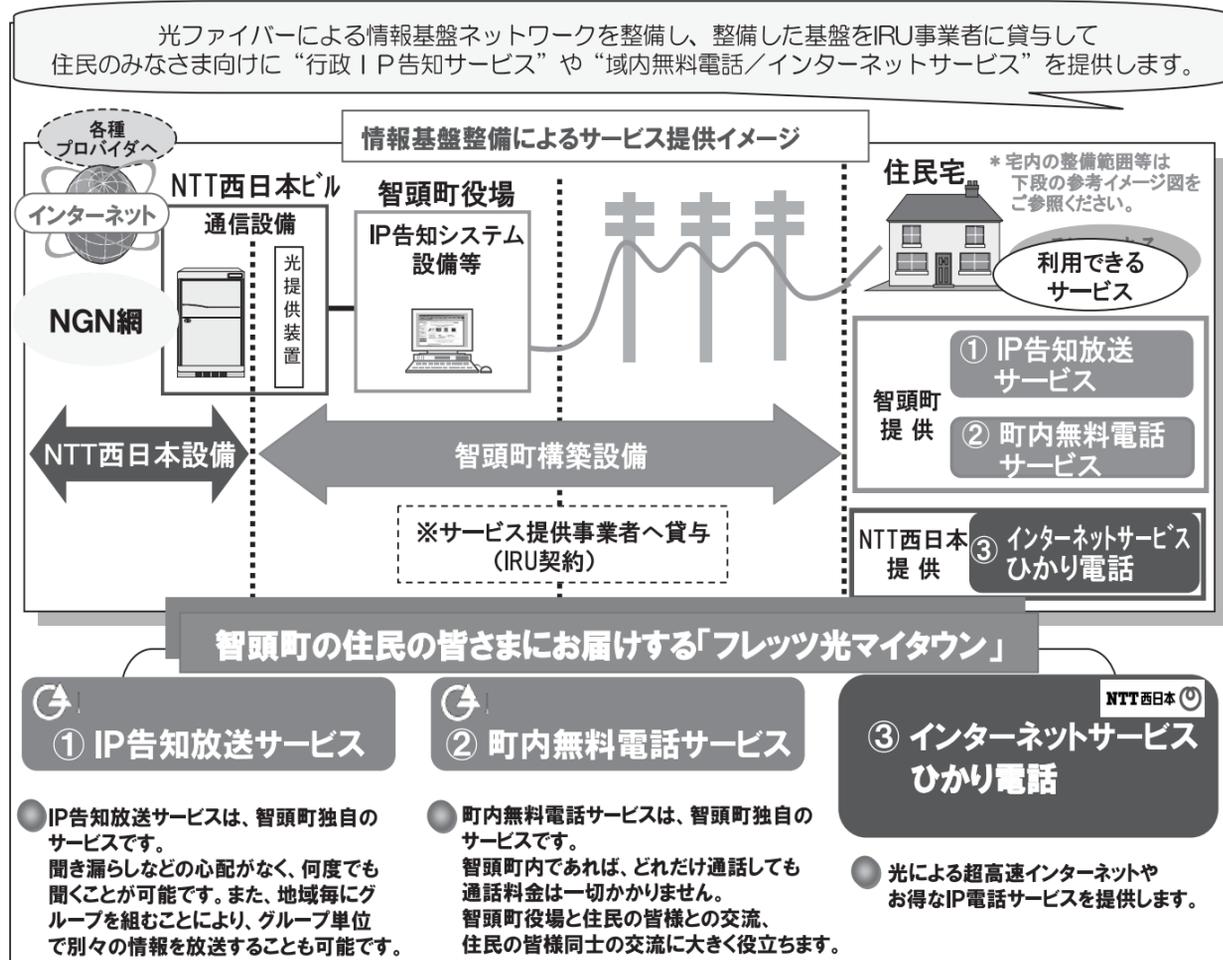
本事業を開始するにあたり、昨年10月に公募型プロポーザルという民間事業者から創意工夫を生かした魅力ある提案を頂き、住民や町にとって優れた提案を採用する方式をとり、NTT西日本鳥取支店が運営事業者として決定(内定)しました。



アナログちゃん

事業計画内容

- FTTH方式により町内全域に光ケーブルを敷設**
(各家庭・事業所・公共施設に対して行う予定です。事業所については一部有償部分が発生する見込みです)
- IP告知放送サービス** (町独自のサービス)
画面付きの告知端末(左のページを参照)を各世帯に整備して、あらゆる行政情報の送受信をおこなうほか、地震など緊急情報などの配信も将来的に提供する予定です。
また、防災無線と異なり聞き漏らしなどの心配がなく、何度でも聞くことが可能となり、更に地域毎にグループを組むことにより、グループ単位で別々の情報を放送することも可能となります。
- 町内無料電話サービス** (町独自のサービス)
智頭町内であれば、どれだけ通話しても料金(通話料)は、一切かかりません。町と住民の皆さまとの交流、住民の皆さま同士の交流に大きく役立ちます。
- 超高速インターネットサービス**
100Mbpsの超高速インターネットをご利用いただけるほか、町外8.4円/3分のお得な光電話もご利用いただけます。(事業者との契約が必要)
- 携帯電話の不感地区解消**
町内で現在まで携帯電話事業者の参入が1社もなく、携帯電話が使えなかった八河谷、板井原の2地区について携帯電話事業者参入を前提に伝送路を整備します。



【参考】引込みと住民宅内の整備イメージ

